

- 国際青年交流村——2～4
- お知らせ——8～9
- 干ばつ対策本部を設置——5
- 公民館だより——10～11
- 国見町の下水道——6
- わだい——12
- 町営住宅「滝山団地」入居者募集——7

1994 INTERNATIONAL YOUTH VILLAGE



言葉の

垣根を越えて

国際青年交流村が、8月18日から21日までの4日間、観月台文化センターにおいて開催され、外国青年32名と、県内青年42名は、交流を深めあいました。

(関連記事 2～4頁に掲載)



観月台文化センターに

国際交流の輪広がる

国際青年交流村が、八月十八日から二十一日までの四日間、国見町観月台文化センターにおいて開催され、県内に留学している外国青年三十二名と県内青年四十二名が、言葉の垣根を越えて交流を深めました。

国際青年交流村は、国際的視野に立った洞察力を持つ青少年リーダーを養成するため、福島県が主催し、国見町と勸福島県青少年会館の共催により実施された事業です。

外国青年と県内青年は、ウォークラリー、ゲーム、桃狩り、太々神楽鑑賞、盆踊りなどを楽しむとともに、共同生活や宿泊を通して、相互理解を深めあっていました。

また、二十一日から二十三日にかけて、外国青年十七名が県内にホームステイを行い、このうち国見町では、十二人を受け入れました。

ホームステイした外国青年は、それぞれの家庭において日本の文化や慣習に接し、思い出深い三日間を過ごしました。



▲文化センターホールで行われた交流村の開会式



▲参加青年を代表して、松浦さんがあいさつ



▲協力しあっての紙笠づくり

一日目 八月十八日

国際青年交流村の開村式が、参加青年や来賓の皆さんなど約百名が出席して、国見町観月台文化センターホールにおいて行われました。

岡田雅光県生活環境部長が、「参加青年の皆さん、交流を通して国際貢献に寄与してください」とあいさつしたのに続き、富水武夫町長と松本正典青少年団体連絡協議会長が、「同じ若者同士、大いに交流と連帯を深めてください」「相互理解と国際化が図られることを期待します」とそれぞれあいさつを述べました。

仲野周一町議会議長が祝辞を寄せた後、参加青年を代表して松浦祐一さんが、「様々なプログラムを通して、交流を深め理解できればと思います」と日本語と英語であいさつしました。

開村式に続き、オリエンテーションが行われ、三泊四日につながる国際青年交流村が幕を開けました。

二日目 八月十九日

参加青年の皆さんは、朝食を終え、朝のつどいを行った後、観月台文化センター大研修室において、ウォークラリー「ミステリートライアングル」の時間にかぶる紙笠の製作に取り組みました。

ボール紙をはさみやカッターで丸く切り、テープでとめ円すい形をつくり、思い思いに模様づけをして紙笠ができあがりました。

協力して製作する姿も見られ、早くも笑い声が飛び交っていました。

ウォークラリーでは、藤田市街地の指定されたコースを八班のグループごとに歩き、途中出会った人にアンケートをお願いしたり、紙笠にサインをしてもらったりしてゴールを目指しました。

最終チェックポイントの藤田駅に到着した参加者は、車で阿



▲国際交流の大きな輪を描いた盆踊り



▲太々神楽の披露も行われました



▲町職員が屋台で飯をふるう



▲ゴールを目指してウォークラリーのスタート



▲歓声をあげながらの桃狩り

津賀志山に移動し、昼食をとりました。
 夜には、町指定無形民俗文化財の「太々神楽」が、ホールにおいて披露され、参加者は、会場を訪れる町民の皆さんといっしょに、鑑賞しました。

三日目 八月二十日

参加青年の皆さんは、鈴木清二さん（西大枝字築館）所有の畑で、桃狩りを行いました。ほとんどの参加者が桃狩りするのは初めてとあって、手渡されたビニール袋いっぱい真っ赤に熟した桃を採り、大切そうに抱き抱えていました。

夕方からは、町民の皆さんも参加しての歌謡ショーや盆踊りも行われ、大勢の町民の皆さんが参加しました。

あいにくの空模様で、文化センターイベント広場から、町民体育館へ会場を移しての開催となりましたが、屋外には、焼き鳥や焼きそばなどの無料屋台も開設され、お祭り気分は最高潮。

仮装や民俗衣装に身をつつんだ参加青年や町民の皆さんは、屋内に設けられた櫓の周りを笛や太鼓の音にあわせて踊り、最初は戸惑い気味だった外国青年も次第に踊りになじみ、国際交流の大きな輪を描いていました。

盆踊り大会では審査が行われ、町長賞をフランス人のレジス・ドラビゾンさんが獲得、みんなから祝福を受けていました。

交流も三日目ともなると、参加者は打ち解けあい、夜遅くまで交流を深めました。



▲国際青年交流村の開催を記念して植樹



▲ホームステイ関係者によるさよならパーティー



▲ホームステイした中国人の孫さんも思い出を発表

四日目 八月二十一日

小雨の降る中、親月台公園の忠魂碑わきに、参加者全員で記念植樹しました。参加者は、「木斛」が植樹される光景をあっいまなざしで見守り、「木斛」の成長を祈りました。また、文化センターホールにおいて参加青年にスタッフも加わり、記念撮影も行われました。

ホールで行われた閉村式では、大内忠夫青少年女性課長、富永武夫町長、松本正典県青少年団体連絡協議会会長があいさつを述べ、参加青年を代表して、荻野由紀さん（郡山市）と武藤・フェルナンド・友弘さん（ブラジル）が、「交流を通して自身自身に自信が持てた」「日本の文化や伝統を知っていろんな交流を深めたことはいへん思い出深い」とそれぞれ感想を述べました。

参加青年は、記念品の「招福くけし」を受け取り、思い出の地「国見町」を後にしました。

ホームステイ 八月二十一日～二十三日

八月二十一日、国際交流村の閉村式に続き、交流村に参加した外国青年のうちのホームステイを行う外国青年十七名とホストファミリーとの対面式が行われ、外国青年は、それぞれの受け入れ家庭でホームステイしました。

ホームステイした外国青年は、受け入れ家庭にとけこみ、日本の文化や生活に接し、日本に対する理解を深めています。二泊三日のホームステイを終えた外国青年は、みんな元気にホストファミリーとともに、二十三日のさよならパーティーに臨みました。

和やかに会食を行った後、各家庭ごとにホームステイにおける思い出が発表され、外国青年は、異口同音に「楽しかった」「よい経験になった」と感想を述べていました。

さよならパーティー後も、別れを惜しみ、写真を撮ったり、再会を誓いあう姿が見られました。

ハウドゥーユードウー

鹿島神社で

桃畑で

文化センターラウンジで



ピーエルさん (スリランカ)

スリランカで、幼稚園の園長を七年間務め、現在、郡山女子大で十カ月間研修を行っていました。帰国後は、先生の育成に当たります。交流村で一息つけ、とても楽しく過ごしています。



楊さん (台湾)

今年の四月から来年三月までの一年間、いわき短大で日本語の勉強をしています。昨年暮れに結婚し、妻と二人で日本に留学しています。日本の景色はたいへん美しく、国見町の人は、みんな親切にしてくれます。



ミーガンさん (オーストラリア)

四年前に、奈良にホームステイし、日本に興味を持ちました。現在、東北大学で聴講生として、一年間日本の歴史を学んでいます。大学卒業後は、日本かオーストラリアに就職したいと思っています。

干ばつ対策本部を設置



▲干ばつ状況を調査する対策本部の皆さん

今年の七月の降雨量は、四十一㎜と平年の降雨量の三十％と少ない状況となり、特に、平年より十日早い七月十三日の梅雨明け以来、雨はほとんど降らない状態が続きました。
このまま降雨の少ない状況が続くと、干ばつによる被害が生じる心配があることから、八月九日、町では役場内に、富永町長を本部長として町議会、簡易水道組合、農業の関係者ら二十名で構成する干ばつ対策本部

を設置しました。

干ばつ対策本部の会議では、干ばつによる農作物や水道への影響が報告された後、町内に節水を呼び掛けるなどの干ばつ対策について話し合いを行いました。

会議終了後、本部員は二班に分かれ、町内の水田や水道水源の現地調査を実施しました。

干ばつ対策本部設置後も、記録的な猛暑と少雨は続き、事態は一層深刻となりましたが、藤倉ダムが最後の放流を行った翌々日の十九日から四日間、恵みの雨が降り続き、対策本部では、ほっと胸をなでおろしたところ



▲渇水時より十五m四十cm水位が低下した藤倉ダム（左掲影）



▲びびり割れが生じた田

国見町の特産品をPR

ビッグフェア

県内九十市町村のふるさと産品を一堂に集めて展示、即売する「ふるくしまビッグフェア」が、八月十九日から二十一日までの三日間、福島市桜木町の福島競馬場で開催されました。

開催期間中は、あいにくの雨の降り続く天候となり、会場を訪れる人は少なかったものの、国見町では、ニット製品、桃、桑の実ジャム、ずんだ福餅、凍み餅などを出品、入場者に産品バ



ビッグフェアで国見町の特産品をPR

県北中が

道路功労者表彰

日本道路協会は「道の日」の八月十日、今年度の道路功労者の発表を行い、福島県からは、県北中など三団体と個人四人が選ばれました。

県北中学生徒会では昭和五十九年から、「クリーンキャンペーン」を実施し、町内の国道や県道・町道などのごみ拾いを行うとともに、ごみを捨ててはいけないという意識を高められています。

今回の受賞は、これらの活動



表彰を受ける生徒会長の大波さん

の実績が認められてのもので、道路功労者の表彰式は、福島県ルミネ・ネクストホールにおいて、八月十九日、福島県が主催した「道路展」の中で行われ、県北中学校生徒会の大波誠さんが出席しました。

「国見町の下水道」



工事が進む徳江地内の処理場施設

◆◆下水道QアンドA◆◆

Q 下水道の使用料金は？
A 下水道の使用水量（排水量）で徴収いたします。

具体的には、これから町公共下水道事業運営審議会を設置して協議し、条例で定めま

Q 受益者負担金とは？

A 下水道が設置されると汚水の排除ができるだけでなく、周辺の生活環境が改善され、下水道のない地域に比べるとその土地の価値があがることとなります。

もし、下水道の建設費をすべて税金でまかなうとすれば、下水道のない地域の方々の間に著しい負担の不公平を招くこととなります。

このため、下水道を整備されることにより、利益を受けられる方に、建設費の一部を負担していただき、その財源にあてるため、受益の範囲内で賦課する負担金です。

使用料金と同様に、町公共下水道事業運営審議会を設置して協議し、条例で定めま

Q 公共汚水ますと排水設備の設置は？

A 「公共汚水ます」は、家庭や事業所の汚水を下水道に流し、また、清掃や検査のために使います。

この「公共汚水ます」は、下水道工事の際、町は申請により一宅地に一個を官民境界から一メートルの範囲内に設置するのが通例となっています。

「排水設備」は、家庭の台所、便所、浴室などの排水を町で設置した公共汚水ますにつなぐものです。

「排水設備」は、公共下水道の供用開始の公示後、個人負担により設置していただくことになり、工事は町の指定する工事店で行うこととなります。

Q 合併浄化槽より経費は安く済む？

A 下水道も合併浄化槽も使用水量（排水量）は同じですから、下水道は、管理費、汚泥くみ取り等がないため安く済みます。

Q トイレなどの改造は？

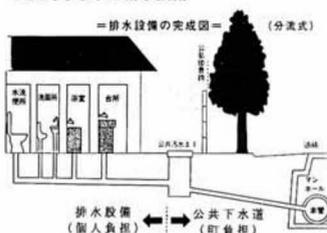
A 下水の処理が開始されると、処理区域内においては、汚水及び生活雑排水を公共下水道管に流すようになります。

このため、くみ取り便所については、下水の処理開始の日から三年以内に水洗便所に改造し、汚水管を下水道に連結しなければなりません。

また、し尿浄化槽が設置されている場合には、遅滞なく下水道に汚水管を接続しなければなりません。

さらに、浴室、台所等の排水設備をし、同様に下水管に接続することになります。

公共汚水ますと排水設備



■ 詳しいことは、役場下水道課
 ☎ 0522111（内線260または261）にお問い合わせください。

国見町公共下水道事業は、昭和六十三年度から工事が始められ、今年度で七年目を迎え、供用開始まで二年足らずとなりました。

この事業は阿武隈川水系の水質保全を図りながら、わたしたちのふるさとと生活環境を快適に永く保ち続けるために行われております。

現在の工事の進行状況は、国より平成九年度まで事業認可を受けている分に対し、事業費で約六十二％、管渠の延長で約四十九％となっています。

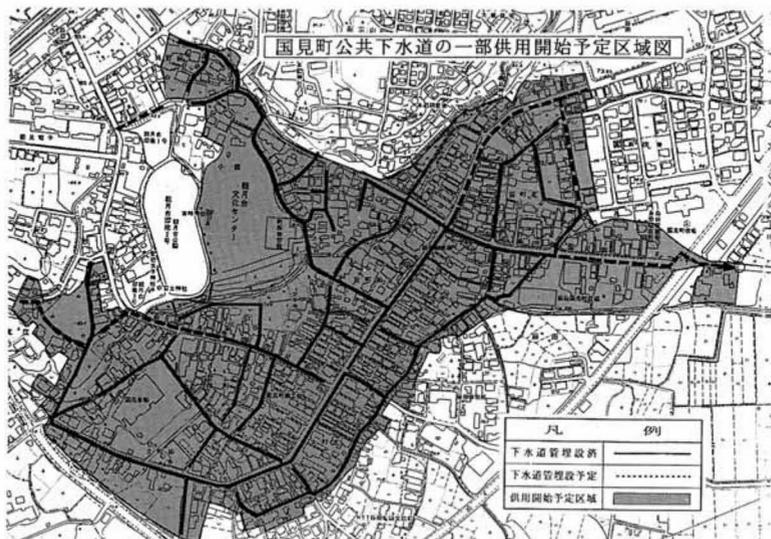
平成八年に供用開始となれば、それまで下水道管渠工事を完了した地区においては随時水洗化を図ることができま

す。

下水道工事に際しましては、何かとご不便ご迷惑をおかけしますが、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

わたしたちに欠かせない

きれいな水を未来まで



町営住宅「滝山団地」が完成

～入居者募集中～



完成したばかりの「滝山団地」は国道への連絡が便利です

昨年十月から、山崎字滝山地区内に建設を進めていた町営住宅「滝山団地」の本体工事が、このほど完成しました。

この町営住宅は、国から建設費の約三分の二の補助を受け、町が建設したもので、工事費約一億九千万円、建築延床面積は九〇八平方メートルです。

「滝山団地」は、鉄筋コンクリート三階建て、一棟十二戸の近代的住宅です。一階は二DK（居室六畳二部屋、台所、食

室）四戸、二階と三階は三DK

（居室六畳二部屋、洋室一部屋、台所、食事室）八戸となつてい

ます。

また、このほか各自の物置、自動車の駐車場および共同の駐輪場が設置してあります。

現在、次のとおりこの住宅へ

の入居者を募集しています。

◆入居資格

①同居親族を有する方、または、

②月額（前年の所得額から政令で定められた控除額を差し引いて十二月で除した額）が、十一万五千円以下であること。

③現在住宅に困窮している方以上の条件を全て満たす方が入居資格を有します。

◆家賃・敷金等

○家賃月額

・二DK（一階、四戸）

28,000円

・三DK（二・三階、八戸）

32,000円

○敷金

家賃の二カ月分

○その他、駐車場使用料および共益費の負担があります。

◆申込方法

役場建設課に備えてある申込書に必要事項を記入のうえ、関係書類を添付して提出してください。

○添付書類

・市町村長が発行する所得証明書

・入居希望される方全員の住民票

◆申込期間

平成六年十月十一日まで

◆問い合わせ

・役場建設課管理係

☎2111 内線242

INFORMATION

・お知らせ

対象者が拡大されます

障害者有料道路割引制度

障害者に対する高速自動車道などの有料道路の割引制度は、これまで肢体不自由の方が自ら運転して有料道路を通行する場合、通常の通行料金の半額の割引を受けることができましたが、十月一日より割引を受けることができる対象者が次のように拡大されますので、該当する方は手続きしてください。

対象範囲

- すべての身体障害者（手帳所持者）が、自ら運転する場合
 - 重度の身体障害者（JRにおける第一種身体障害者）または重度の精神薄弱者（療育手帳△を乗せて、介護者が運転する場合）
- ※本人または家族が所有する乗用自動車・ライトバン等の自動車一台について対象になります。
- 手続きの際持参するもの
- ・印鑑
 - ・身体障害者手帳
 - ・自動車検査証
 - ・自動車運転免許証（本人運転

の場合のみ)

※九月一日より手続きを行って

■割引証交付窓口・問い合わせ

・役場住民福祉課福祉係

☎8521111 内線134

悩みや苦情はまず相談

秋の行政相談週間

十月十六日(日)から二十二日(土)の一周間は「行政相談週間」です。

総務庁では、行政相談制度のより一層の利用を促進するため、この一週間を「行政相談週間」として全国一斉に各種の行事を実施します。

行政相談は、役所(国、県、市町村)や公団・公庫、NTT、JRなどの仕事に困っていることや要望したいことについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。

行政相談委員は、いつも自宅で相談に応じていますが、この期間中は、次のところで行政相談所を開催いたします。

- ◆国見町の行政相談委員は
- ・氏名 内池和子
- ・住所 山崎字沢田十の九

☎853320

◇行政相談所の開催日時、場所は

・日時 十月二十二日(土)

午前九時～正午

・場所 観月台文化センター

秋の全国交通安全運動

「事故ゼロ」へ

大きな輪になれ

うつくしま

◇運動期間

九月二十一～九月三十日

◇運動の重点

①高齢者の交通事故防止

②シートベルトの着用徹底

観月台文化センター ホールでの催し案内

◇日本古典文学講演会

演題 軍記物語の中の人生観
～俊寛の死をめぐって～

◎10月30日(日) 13:30～

講師 早稲田大学教授 日下力

●料金無料

戸籍の窓口 (8月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	町内会
星 香(せいか)	佐藤 政弘	滝山
美 和(みわ)	清水 正行	駅前
あかり	久田 佳伸	山崎北
夏 海(なつみ)	菅野 重春	宮東
尤 人(よしひと)	菅野 一	内谷東
美 沙(みさ)	奥村 則男	小坂
知 也(ともや)	佐藤 智	第2

結婚おめでとうございます

氏名	町内会
阿 住 慎	宮館
柳 町 さおり	八戸市
佐 藤 武	石母田表
橋 本 由美子	福島市
石 井 隆	大町南
菅 野 真由美	蔵王町
松 浦 正行	町東
紺 頼 範子	福島市

おくやみ申しあげます

氏名	年齢	町内会
安 藤 良一	68	前田
市 山 ハナエ	86	大町南
安 田 正夫	78	滝山
高 野 初雄	82	鳥取
木 村 フク	88	川内
佐久間 貞吉	86	宮町北
菊 地 はな	78	石母田西

資格認定試験案内

下水道排水設備工事 責任技術者

◇試験の日時および場所

・日時 十一月十一日(金)

午後一時三十分～四時

・場所 警備ランドホテル

(郡山市熱海町熱海)

◇試験方法

・筆記式

◇受験申込

・十月七日まで登録の申請を予定している市町村に受験申込書を出してください。

・申込用紙は役場下水道課にあります。

■問い合わせ

・役場下水道課

☎ 852111 内線261

高齢者に雇用の機会を 求人企業合同選考会

本格的な高齢化社会の到来を迎え、高齢者の雇用機会を確保することが重要になっていきます。

この一環として、高齢者層を中心に「合同選考会」が次により開催されますので、就職を希望される方はお気軽にご参加ください。

◇日時

・十月二十七日(木)

午後一時三十分～

◇場所

・福島グリーンパレス

瑞光の間(二階)

福島市太田町13-53

■問い合わせ

・役場企画商工課企画商工係

☎ 852111 内線253

「藤田郵便局」が 「国見郵便局」に改称

藤田郵便局では、国見町村合併四十周年を記念して、次のとおり改称することを承認されました。

藤田郵便局は、明治五年三月一日に秦林次郎氏により、福島県で町指定郵便局として、最初に開局され今日まで住民の方々に利用されています。

この度の改称は、昭和四十五年十月の通達により、局名は地域行政上の地名を冠称することとされていることから、九月二十三日を「くにみ」と読み替えられるものです。

郵便番号等は変わりません。新局名 国見郵便局
改称月日 平成6年9月23日

ふくしま固体の成功を

県警察では、ふくしま固体の成功を祈り、テロ・ゲリラを未然に防止するため、あらゆる法令を適用して過激派の検挙に努めています。

皆さんの御協力をお願いいたします。

■問い合わせ・連絡先

・桑折警察署 ☎ 822151

無料で差し上げます パンフレットを

阿武隈川を管理している建設省福島工事事務所では、万が一の洪水の備えに役立つように「阿武隈川上流洪水氾濫危険区域図」を作成しました。

このパンフレットは、概ね百五十年に一回程度起こる大雨を想定し、洪水により阿武隈川の堤防が破壊した場合の区域や程度を地図に表したもので、避難活動の際の活用と水防への関心の高揚を目的に作られたものです。

希望者には、このパンフレットを無料で差し上げますので、町役場建設課までお申し出ください。

■問い合わせ

・役場建設課管理係

☎ 852111 内線242

労働保険の加入は おすすめですか

労働保険(労災保険・雇用保険)は、労働者が労働災害や失業等の保険事故のとき必要な保険給付を行い、生活の安定・社会復帰の促進・再就職の促進等を図ることを目的とした制度で、労働者を一人でも雇用していれば加入しなければなりません。

手続きがおすすめでない事業主の方は、最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所または労働保険事務組合(労働保険の事務を代行する団体で、商工会・事業協同組合等があります)におたずねください。

■問い合わせ

・役場企画商工課企画商工係
☎ 852111 内線253

人口と世帯

9月1日現在(前月比)		8月中の動き	
人口	男 5,739人 (+10)	転入 38人	
	女 6,166人 (+22)	転出 6人	
	計 11,905人 (+32)	出生 7人	
世帯数	3,087戸 (+10)	死亡 7人	

- 9月 長月(ながつき)
- 20日(火) 動物愛護週間
「空の日」および「空の旬間」
 - 21日(水) 秋の全国交通安全運動
 - 24日(土) 結核予防週間
環境衛生週間
- 10月 神無月(かんなづき)
- 1日(土) 全国防犯運動
 - 4日(火) 国際協力週間
 - 8日(木) 木の日
 - 10日(月) 体育の日
目の愛護デー

こよみ

心配ごと相談目

場所: 役場2階相談室(東側入口からお入りください)
時間: 9時~12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

相談員	相談日
松浦 輝光	9月22日(木)
藤原 夫	10月5日(水)
斎藤 野	10月14日(金)
安佐 谷	
藤原 智	
重子 恵	

PUBLIC HALL NEWS

公民館だより

国見町公民館
 国見町大字番田字親月台15
 国見町公民館
 FAX 8585 2676
 FAX 8585 2707

アサガオ観賞会

阿津賀志学級

阿津賀志学級では、本年度も学級生の体験学習をとおして地域環境の美化に努め、情操を養うというねらいから、アサガオの一人一鉢運動を継続して実施して参りました。その成果を相互に披露し合う観賞会が去る八月九日町民体育館で開かれました。

観賞会には、町園芸愛好会会



アサガオに見入る学級生の皆さん

長の秦三郎様を講師に優秀作品の審査と懇切なご指導、ご講評を次のようにいただきました。

例年になく酷暑の中にもかかわらず、大変な苦勞をしながら丹精込めて育て上げた多数(六十鉢以上)の鉢が展示され、白、紅、青、紫など色鮮やかに咲き誇った大輪のアサガオの花を熱心に見比べながら、そのでき栄えに感心したり、苦勞話が聞かれたりして、楽しいひと時を過ごしました。

講師の先生からは、

① 培養土を毎年新しくしてアサガオに必要な養分を十分ゆきわたらせ、健康なアサガオづくりに努めて欲しい。

② 給水は鉢の温度が一番低い時にやるようにし、酷暑の時は陽ざしに当てる時間も工夫することも大切な管理である。

③ 芽つみを計画的にし、葉や花めが上の方にだけ片寄らない作りが大切。行灯の中が少し透けて見えるような作りを心がけて欲しい。

終わりに

「酷暑の中、全体としては大変見事な作品もありました。皆さんの心細やかな愛情の賜であり深く敬意を表し大きな拍手を送ります」との語がありました。なお、優秀作品として金賞、銀賞、それぞれ十点ずつが選ばれ、記念品が贈られました。

本格的な演奏を楽しむ

演奏を楽しむ

福島市民オーケストラ主催、町教育委員会共催の「国見町ファミリーコンサート」は九月四日、親月台文化センターホールで開かれました。

この市民オーケストラは地域に密着した音楽活動を続けており、約三百五十人の町民の皆さんが会場を埋めた中、ベートーベン作曲の「交響曲第五番「運命」とクリエ作曲の「音楽物語・ペールギュント」を約二時間間にわたる見事な演奏を披露しました。

特に今回は家族連れにも楽しめるようにと、音楽物語「ペールギュント」では物語の展開に沿ったナレーションなども入れ、より分かりやすく紹介し、会場



見事な演奏が披露されたファミリーコンサート

に訪れた皆さんは、迫力ある音楽にじっと耳を傾けていました。

少年仲間づくり教室

少年仲間づくり教室

少年仲間づくり教室のキャンプ研修は、南蔵王連峰の麓に一六〇万平方メートルの広大な敷地をもつ国立南蔵王青少年野営場で、八月四日から六日まで行われました。

この教室は、小学校四年生以上を対象に、学校や学年を超えた教室で、人と人とのふれあいを大切にするこにより、児童の健全育成を目指すのが目的です。今年はこの研修に二十五名の児童が参加しました。

第一日は、文化センター前をバスで出発、野営場に到着し

昼食、テント設営、炊飯活動等に入りました。班全員の協力により予定時間内に第一日目の予定を無事過すことができました。

二日目は、二キロメートル程離れたところにある牧場の牛の飼育を見学し、その後の焼肉を食べながらの昼食は、腹いっぱい食事でした。

夜はキャンドルファイヤーやゲームを行い楽しい二日目も終わり、この夏休みの楽しい思い出をつくることができました。

最後の日は、テントの撤収作業と設営場所の清掃作業です。私達の後に設営する人に良い感じをあたえるように、時間をかけて清掃し、野営場を後にしました。



夏休みの楽しい思い出となったキャンプ研修

気力充実、若さを保つ

— 阿津賀志学級 —

阿津賀志学級では、八月九日のアサカオ観賞会后、大研修室で「高齢者の健康づくり」教室を開催しました。

元福島市社会教育指導員の佐藤キイ先生を講師に迎えて、はじめに、用意された資料をもとに健康の大切さ、簡単にできるストレッチ体操による健康の保持と増進の講義を受けました。

続いて、具体的なストレッチ体操をおして、身体に対する効果を身をもって体験するため簡単な運動を一時間程度行いました。

全身運動、歩行運動、手足の運動など、自分に合う運動を継続するところに健康の秘訣がある。



ストレッチ体操で気持ちさわやか

ることを学習しました。軽い運動をみんな楽しんでたせいか爽快な気分になり、身も心もフレッシュしたようでした。

終わりに、先生は健康づくりのために次のような点を強調されましたのでお知らせいたします。

※ ストレッチ体操を継続して気力充実・若さを保つために（朝夕の五・十分位の短時間を有効に活用して）、ぜひ顔や頭をよくマッサージする。

② あくびと背伸びをしたり、深呼吸をし途中で息を一時止めたりますことを数回繰り返す。

③ 上向きにねて、上体を起こしたり、前曲げをし身体を柔らかくする。

④ 首を前後左右、回転などの運動をして肩や体の疲れをとり、リラックスするようにする。

⑤ 腰を降ろしたり、立ち上がったりの運動をする。

※ 痛いくらい無理な運動はしないことが大切です。身体を柔らかくすることは、身体の内部（内臓）の働きも活性化し老化を防ぎ、若さを保つ源泉となるのです。

健闘！

国見代表

伊達地方体育協会主催の第三回伊達地方スポーツ大会は九月四日、郡内九町を会場としてソフトボールなど十種目に熱戦を繰り上げました。

国見町からは九種目に、町代表として出場、日頃の練習の成果を存分に発揮し、テニスの団体戦に優勝するなど健闘しました。

上位の成績は次のとおりです。

◇テニス

●団体戦

優勝：国見町テニス部 A

●個人戦（男子ダブルス）

優勝：渡辺正志・菊地慎一

準優勝：高鶴光雄・高橋孝

●個人戦（女子ダブルス）

準優勝：吉田まき子・高橋幸江

◇剣道

●個人戦

優勝：佐藤 誠

◇卓球

準優勝：国見町剣友会

◇卓球

●女子シングルス

準優勝：斎藤ハツ子

（敬称略）



行事のお知らせ

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事		
9	16	金		子育て教室「自主学习」	29	木	9		子ども移動図書館（藤田小2年）		
				成人学級「古代のロマン」					30	金	子育て教室「自主学习」
9	21	水		子ども移動図書館（大木戸小）	4	火	10		あつかし学級グループ学習（書道）		
				女性教室グループ学習（健康体操）					6	木	子ども移動図書館（森江野小）
				阿津賀志学級（交通安全教室・奉仕作業）					8	土	世代間交流運動会
				子ども移動図書館（藤田小1年）					11	火	子ども移動図書館（藤田小3年）
9	22	木		子育て教室「おやつ作り」	14	金			子ども移動図書館（大枝小）		
				子ども移動図書館（小坂小）					子育て教室「子どもの体」		
				女性教室							

集団疎開から五十年

国見町を表敬訪問

戦時中の昭和十九年八月二十一日から一年余りの間、東京都荒川区瑞光小学校の児童九十三名が、藤田小学校に集団疎開していました。

今年が集団疎開から五十年に当たることから、東京都荒川区



表敬訪問した連盟の皆さんと懇談

議会議員全員で構成する荒川区学童集団疎開友好促進議員連盟の代表二名が、八月二日、国見町を訪れました。

当日は、富永武夫町長、仲野周一町議会議員や当時お世話をした寮舎の皆さんが、議員連盟の皆さんを温かく出迎え、当時の思い出を語るとともに、記念品の交換を行いました。

サマーフェスティバルで

にぎわう

商工会青年部(他刈菜治部長)主催による第七回サマーフェスティバルが、八月六日、親月台文化センター前イベント広場で開催されました。

イベント広場では、バスケットゲーム、PKゲームなどのゲ



親子連れでにぎわったサマーフェスティバル

ームコーナーや、おでん、やきとりなどの売店コーナーが立ち並び、もちつき大会、アニメビデオ大会、サマーコンサートが行われました。

会場中央に設けられた特設櫓を囲み、夕方から盆踊りが行われ、ゆかた姿の親子連れや町内外からの参加者で夜遅くまでにぎわいました。

森山老人クラブが優勝

国見町老ク連運動会

第六回国見町老人クラブ連合会運動会が、八月二十四日、町民体育館で開催されました。運動会には、単位老人クラブ

ごとに十名で編成された十九チームが出場し、選手の皆さんは、人体実験、ストライクボウリン



競技に見入る参加者の皆さん

グ、サッカーゲーム、おしどり道中の四種目で得点を競いました。

若者顔負けのはつらつプレーが展開され、体育館には一日中笑いと声援が飛び交いました。

- 優勝 森山老人クラブ
- 準優勝 塚野目老人クラブ A
- 第三位 第二藤田長寿会

県消防操法競技大会に

第一分団が出場

第二十九回福島県消防操法競技大会が、八月二十六日、福島市佐原のあづま総合運動公園(多目的広場)において開催され、国見町消防団第一分団(小坂地区)の皆さんが出場しました。

県消防操法競技大会は、福島



きびきびと競技を行う選手の皆さん

県と朝福島県消防協会の主催により隔年実施されており、大会に向けて今年の四月から練習に取り組んできた選手の皆さんは、きびきびと競技を行いました。

- 選手 の 皆 さん は 次 の と お り で す。
- (敬称略) ◇ 指揮者 横山 孝夫 ◇ 一番員 佐藤博之 ◇ 二番員 山田勲 ◇ 三番員 仲野博行 ◇ 四番員 高橋一男

編集 日記

国際青年交流村に参加した外国青年は、みんな向学心に燃える人たちがばかり。帰国後、日本で学んだ知識や身につけた技術が、大きく生かされることは間違いない。そして、交流村での思い出が、「国見町」の地名とともに語られることと思う。(S)

発行・編集 国見町総務課

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁目二.2の1
☎969-17

☎0245 (85) 2111 FAX 0245 (85) 2181